

EPOちゅうごく・中国地方ESDセンター

ANNUAL REPORT

2023-2025



中国地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ABOUT

EPOとは

EPO（Environmental Partnership Office：環境パートナーシップオフィス）は、環境教育等促進法第19条に基づく拠点機能として、環境省が全国8カ所に設置し、民間団体と協働で運営しています。

また、GEOC（地球環境パートナーシッププラザ）と各地方のEPOが連携して、環境政策と地域活動のパートナーシップを繋ぐ役割を担っています。



中国環境パートナーシップオフィス（通称：EPO(えぽ)ちゅうごく）は、2005年に開設して、持続可能な社会を構築するために、中国地方の市民、NPO/NGO、教育機関、企業、行政等と協働し、環境保全活動の促進や地域循環共生圏の創造、ESDの推進に取り組んでいます。



第7期（2023～2025年度）の業務は、環境省中国四国地方環境事務所と特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターが協働で運営しました。

ESDセンターとは

ESD活動支援センター（全国・地方）は、ESD国内実施計画に基づき、文部科学省と環境省が共同で設置しました。地域ESD活動推進拠点と共にESD推進ネットワークを形成し、持続可能な社会の実現に向け、ESDに関わるマルチステークホルダーが、地域における取り組みを核としつつ、様々なレベルで分野横断的に協働・連携してESDを推進しています。

※ESD：Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）



中国地方ESD活動支援センター（通称：中国地方ESDセンター）は、2017年に開設して、情報の収集・発信、ESD支援体制の整備、ネットワーク形成と学び合いの促進、人材の育成の4つの機能を基に、SDGs達成に向けた学び合いや地域づくりを支援しています。

※SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

第7期（2023～2025年度）の業務方針

EPOちゅうごく

地域循環共生圏の構築や脱炭素地域づくりの協働プロセスを支援するパートナー

EPOちゅうごくは、地域循環共生圏（ローカルSDGs）や地域脱炭素ロードマップ等を推進するために、環境教育等促進法第19条の拠点機能を基盤として、近年に培ってきた経済セクターや金融機関を含む幅広いネットワークを活かしながら、多分野・主体に共にアプローチするための中間支援組織（NPOや環境活動の支援センター、温暖化防止活動推進センター、ネットワーク組織）等との連帯を強化する。そして、地域循環共生圏の構築や地域脱炭素ロードマップの推進に向けて「実践・連携に動き出す地域・主体」及び「協働・仕組みづくりに動き出す地域・主体」を主なターゲットとして、EPOちゅうごくが持つ強みやノウハウを活かした業務を展開する。

中国地方ESDセンター

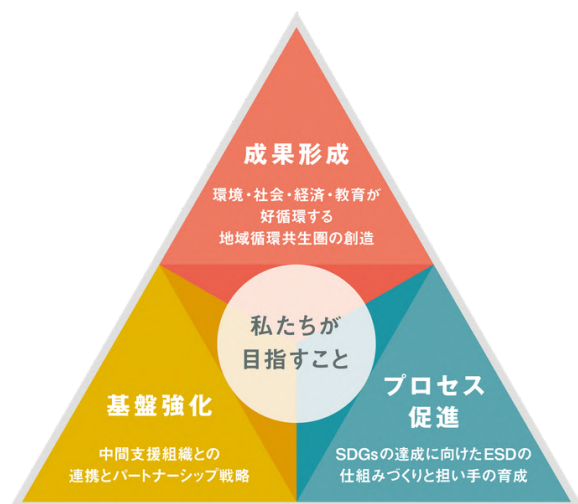
SDGsと気候変動教育を推進するための担い手育成

中国地方ESDセンターは、中国5県の11の地域ESD活動推進拠点と連携し、学校・社会教育のみならず様々なフィールドにおいて各地域の特色あるESD取組を支援し、近年に拡充したユースやローカルSDGsのネットワークを活かしながら、SDGs達成のためのプロセスを促進する。

また、気候変動を切り口として、社会を変えるために実践できる人づくり、脱炭素地域づくりと連動した教育実践、多様な価値観と対話による協創、気候変動対策（緩和と適応）を両立させる教育を推進するため、学校・社会教育拠点・ビジネスセクターを主なターゲットとして、個人の変容から社会の変容に向けてフォーカスした「ESDネットワーク×気候変動教育」のアクションを支援すると共に、ESD活動による教育の効果を可視化・評価する業務を展開する。



ステークホルダー（活動を行う上で関わるすべての人）が
パートナーシップを組み、持続可能な社会を目指します



ABOUT

運営体制

中国四国地方環境事務所及び運営委員会と協働して、業務運営計画を策定するとともに、業務の実施に係る企画・進捗・報告等を共有しながら運営しました。

スタッフ



事務局長
松原 裕樹



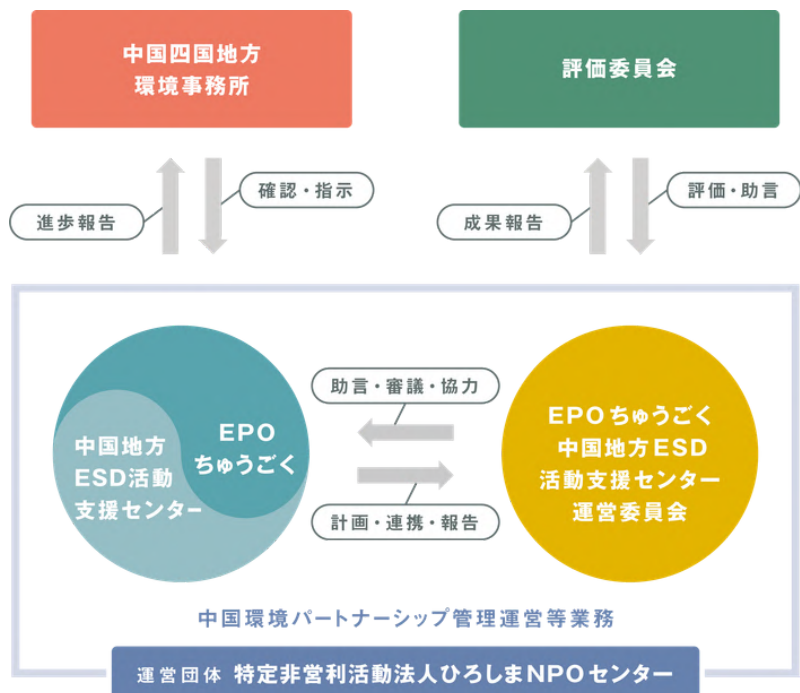
コーディネーター
岩見 暢浩



コーディネーター
西村 浩美



コーディネーター
岩崎 雅子



運営委員会

NO	氏名	所属	職名	地域
1	寺坂 純子	公益財団法人とっとり県民活動活性化センター	次長	鳥取県
2	松本 一郎	島根大学学術研究院教育学系	教授	島根県
3	葭矢 崇司	公益財団法人しまね自然と環境財団環境事業課、島根県地球温暖化防止活動推進センター	課長・副センター長	島根県
4	岩淵 泰	岡山大学研究・イノベーション共創機構	准教授	岡山県
5	川田 力	岡山大学学術研究院教育学域	教授	岡山県
6	服部 敬子	岡山市市民協働局市民協働部SDGs・ESD推進課	課長	岡山県
7	藤原 園子	公益財団法人水島地域環境再生財団	事務局長	岡山県
8	石丸 賢	株式会社中国新聞社 編集局	特別論説委員	広島県
9	新中 達也	北広島町役場環境生活課ゼロカーボン推進室	室長	広島県
10	伊藤 彰	やまぐち県民活動支援センター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21	センター長・理事	山口県
11	品川 智宏	一般財団法人ちいき未来研究所	副理事長	山口県

EPO PROJECT

基盤業務

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
相談対応 個人や各団体からの相談に対する、助言や情報提供、取組支援。	184 件	178 件	187 件
情報発信 環境活動やSDGsに係るイベントや研修、公募、助成金、施策等のお役立ち情報の発信。 ※ホームページ掲載件数	1,042 件	1,579 件	1,784 件
	「脱炭素地域づくり」「OECD」を重点的に発信！		
活動支援 協働取組やパートナーシップ形成を促す対話の場づくり、行事の参加・開催協力等の支援。	37 件	36 件	52 件

活動支援トピックス

2023～2025年度
／広島県江田島市・広島市

ひろしま環境ミーティング



「環境でつながるひろしまのわ」をテーマとして、一年に一度「環境」に関わる多様な立場の方々が集い、その年ならではの新たな出会いやつながりが生まれています。EPOちゅうごくは実行委員会のメンバーとして、全体運営や分科会企画を担いました。

2024年度／山口県山口市

山口県生物多様性地域連携セミナー



生物多様性保全の取組や自然共生サイトの登録を促進することを目的として、事業者・自治体・NPO・金融機関が集いました。主催者である山口県と運営事業者である株式会社YMFG ZONEプランニングとの連携により、EPOちゅうごくの取組紹介や意見交流のファシリテーターを務めました。

2025年度／鳥取県鳥取市

デコ活地域交流会 中国・四国ブロック



環境省・全国地球温暖化防止活動推進センターの主催によって、中四国地方9県の地球温暖化防止活動推進センターや自治体、デコ活応援団の事業者等が集い、各地のデコ活事例を基に対話交流しました。EPOちゅうごくは企画準備から当日進行までのコーディネートを行いました。

EPO PROJECT

地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進業務

2023年度／鳥取県倉吉市

脱炭素経営情報交換会

脱炭素地域づくりに向けた地域のステークホルダーの取組や連携を促進するために、2023年度は鳥取県内の金融機関を対象に情報交換会を開催し、脱炭素経営の政策や取組事例の情報提供、金融機関同士の取組紹介を行いました。2024年度は米子信用金庫の役員・支店長を対象とした研修会を展開し、脱炭素経営支援を担う人材養成を図るとともに、組織基盤整備に寄与しました。

♥ PARTNERSHIP

ゼロカーボンとっとり（鳥取県地球温暖化防止活動推進センター）

全国地球温暖化防止活動推進センター

鳥取県内の金融機関（米子信用金庫、鳥取銀行、山陰合同銀行、倉吉信用金庫）

鳥取県 ほか



2023～2024年度／鳥取県北栄町

ほくえい未来トーク

「2050年北栄町脱炭素ロードマップ」の達成に向けて、2023年度は若年層に対してアプローチすると共に、第2次北栄町環境基本計画区域施策編を策定支援し、具体的なアクションに向けた機運づくり・タネ撒き・人材発掘・体制づくりに取り組みました。2024年度は、更に脱炭素地域づくりの可視化や担い手育成、風力発電の理解促進、民生・事業者部門における再エネ・省エネ実装を推進しました。

♥ PARTNERSHIP

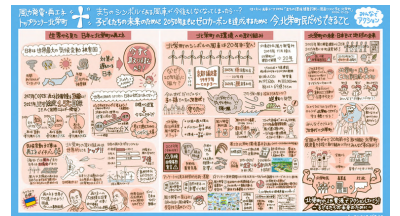
北栄町

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター

株式会社エナテクス

グラフィッカー(福田京子)、カメラマン(宮川大志) ほか



2024年度／広島県広島市

第12回全国省エネ ミーティングinひろしま

住宅建築事業者及びそれらを取り巻くステークホルダーとの連携を通じたカーボンニュートラルを目指すために、2024年度は全国規模の省エネ行事を共催し、省エネ基準適合義務化に向けた先進事例からの情報交流や議論を促進しました。そして、その繋がりをきっかけに、2025年度は、ZEH水準の省エネ住宅である「環境ゲストハウス島韻」の視察を通じて、省エネ住宅の推進に向けた自治体・事業者・NPO等のパートナーシップを構築しました。

♥ PARTNERSHIP

一般社団法人Forward to 1985 energy life

株式会社プレゼントデザイン

広島県 ほか

2025年度／広島県江田島市

省エネ住宅パートナーシップ ミーティング



EPO PROJECT

身近な自然資本を活用した地域づくり

2024年度／岡山県岡山市・2025年度／山口県山口市

自然共生サイト中国地方ミーティング

中国地方の自然共生サイト認定団体や生物多様性保全に取り組む様々な立場の主体が、2024年度は岡山市、2025年度は山口市に集いました。生物多様性のための30by30アライアンス、自然共生サイトへの相互参照・参加を図るとともに、環境省の地域づくりに関する支援事業（里海づくりの推進等）に採択された団体との情報交換も活用して、身近な自然資本を活用した地域づくりに関するパートナーシップの促進やノウハウ共有を行いました。

♡ PARTNERSHIP

中国地方の自然共生サイト認定団体（27団体／33か所）
山口県
一般財団法人ちいき未来研究所
やまぐち県民活動支援センター ほか



中間支援組織の強化・活動支援

2023～2025年度／広島県広島市

みんなの市民サミット

G7広島サミットを契機に、「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を推進することを目的とした「みんなの市民サミット」の開催を共催しました。2023年度は、国内外の市民社会組織やステークホルダーが集い、核廃絶、気候変動、子育て、ユース、紛争、SDGs、公共調達、防災等の社会課題について、分野・立場・世代を横断した情報交流や学びあいを行いました。そして、2024・2025年度は、グローバルな活動やローカルSDGsの実践を促す交流機会を継続展開しました。

♡ PARTNERSHIP

みんなの市民サミット実行委員会
G7市民社会コアリション2023
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
公益財団法人広島平和文化センター
サミット・ウォッチ・ジャパン ほか



2025年度／広島県広島市

中間支援組織人材学校「SDGsの本質から、地域課題について考える」

ローカルSDGsに取り組む中国地方及び全国の中間支援組織等が集い、システムチェンジ（社会構造変革）を促すためのRBA（Rights Based Approach：権利基盤型アプローチ）の考え方や手法について学び合うとともに、「再生可能エネルギー開発と環境・地域の共生」「子どもの文化権」「合理的配慮」等の地域課題をRBAの視点から分析・議論し、RBAの実践に向けた理解を深めました。

♡ PARTNERSHIP

中国5県中間支援組織連絡協議会（公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、特定非営利活動法人岡山NPOセンター、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21）
一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク ほか



ESD PROJECT

基盤業務

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
相談対応 ESD活動の実践団体等からの相談に対する、助言や情報提供、取組支援。	53 件	57 件	69 件
情報発信 ESDに係るイベントや研修、公募、助成金、施策等のお役立ち情報の発信。 ※ホームページ掲載件数	253 件	538 件	954 件
「気候変動教育」「地域ESD拠点」を重点的に発信！			
活動支援 ESD活動の発展やネットワーク構築を促す行事の参加・開催協力等の支援。	42 件	12 件	14 件

活動支援トピックス

2023～2024年度／広島県江田島市

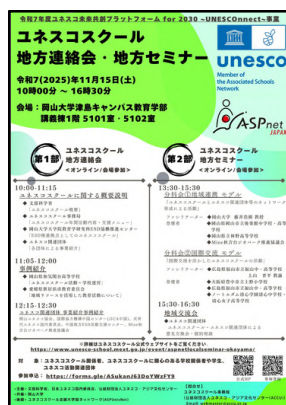
国立江田島青少年交流の家
「地域の実情を踏まえた体験活動事業」



事業推進のための実行委員会構成団体として、過年度にSDGs環境学習プログラム「未来の海☆夢計画」の開発及び指導者養成を支援したことに続いて、2023年度は事業実証に係る視察や改善のための助言、海洋型4施設合同研修の参加を行いました。2024年度は、当該プログラムを含む「小学生SDGsキャンプ」の講師、ESDや探究学習の視点から指導者ガイドブックの執筆を担いました。

2025年度／岡山県岡山市

ユネスコスクール地方連会
・地方セミナー(岡山)



文部科学省・日本ユネスコ国内委員会・公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター・岡山大学が共催する行事において、ユネスコスクールの支援メニューとして中国地方ESDセンターの取組を紹介しました。また、交流会の相談ブースを担当し、参加関係機関との意見交流を行いました。

2025年度／島根県松江市

島根大学SDGs入門デジタル教科書



島根大学に入学する全ての学生がSDGsの基礎や各学部での活用実践を学ぶためのデジタル教科書において、第5章「ポストSDGs/SDGsパイオニアからのメッセージ」を松原（EPOちゅうごく・中国地方ESDセンター 事務局長）が執筆しました。

ESD PROJECT

ESD活動に関するネットワークの構築

2023年度／広島県東広島市

SDGsフォーラム

過年度から広島県と連携してきたSDGsビジネスの強化やプラットフォームの活性化を図るために、SDGs未来都市の東広島市と連携してSDGsフォーラムを開催しました。国際・企業・地域・ユースの立場の講師から取組事例を発表し、多様な立場の参加者と共にSDGs後半に向けた課題や協働の可能性を意見交流し、ESDのマルチステークホルダープロセス推進に寄与しました。



♥ PARTNERSHIP

広島県

へいわ創造機構ひろしま (HOPe)

東広島市

2023～2025年度／島根県浜田市

SDGsオープンカフェ あつうみ

2023・2025年度／島根県浜田市

釣ったらわかる いわみのSDGs

2023～2025年度／島根県石見エリア

いわみん特集ページ

「あつまれ うみのなかまたち」略して通称「あつうみ」。過年度に企画開発に携わった地域ESD活動推進拠点のしまね海洋館アクアス等が開催する「SDGsオープンカフェあつうみ」を共催し、石見エリア（島根県西部）の海の持続可能性をテーマに、鮮魚店・水産技術センター・漁師等をゲストに迎えて学び合うワークショップを継続的に実施しました。また、魚を釣って自分で捌いて食べる一連の活動を通じてSDG14（海の豊かさを守ろう）を体験学習するプログラムを親子向けに開催しました。

そして、石見エリア（島根県西部）の情報誌「いわみん」と連携し、地域ESD拠点等と協働して実施したESD事業を特集ページで可視化・発信するとともに、共催行事の参加者募集やEPOちゅうごく・中国地方ESDセンターの取組紹介を掲載しました。

♥ PARTNERSHIP

島根県立しまね海洋館アクアス

公益財団法人しまね自然と環境財団

一般社団法人イワミノチカラ

いわみっこ大作戦（浜田市、公民館、いわみケーブルビジョン）ほか



いわみん WEB Site



ESD PROJECT

2023～2025年度／東京都

ESD推進ネットワーク全国フォーラム

東京で毎年開催されている全国フォーラムに参加し、ポスターセッションのプログラムにおいて地域ESD活動推進拠点や学び合いプロジェクトの関係者と共に取り組んだESD活動を発表しました。また、ESD×気候変動教育の推進に向けて、実践事例やノウハウを情報交流することを通して、地方と全国域のネットワークを拡充しました。

♥ PARTNERSHIP

全国・地方ESD活動支援センター
地域ESD拠点
環境省
文部科学省 ほか



ESD for 2030 学び合いプロジェクト

2023年度／鳥取県北栄町

北栄町脱炭素ロードブック制作プロジェクト

第2期ESD国内実施計画に位置付けられている「テーマ別の学び合いの仕組み」の実践を通して、ESD活動の高度化を図るため、全国8ヶ所の地方ESD活動支援センターが共通して「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」に取り組みました。中国地方では、2023年度に北栄町等と協働して、多様な主体による脱炭素地域づくりの推進及びその担い手を育成することを目的として、町民やユース等がレポーターとなって脱炭素地域づくりに資する取組を取材・可視化して「北栄町脱炭素ロードブック」を制作し、町の行事や広報誌等を通じて配布・発信しました。

♥ PARTNERSHIP

北栄町
株式会社鳥取みらい電力
妻波公民館
町民
北栄町環境CFO（ユース）
北栄町立大栄中学校
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）
公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）



北栄町脱炭素ロードブック



関係者からのコメント



脱炭素に関する専門的な知識、脱炭素に関わる国機関、活動団体等のネットワーク、住民啓発のノウハウなどに精通されているおかげで、脱炭素ロードブックや地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に対して、ワークショップ等に参加した町民、事業者の方がわかりやすく、身近な問題として捉えながら関わることができました。また、県内の町民活動を支援する団体とも知り合うことが出来、今後、継続な取組を進める上でプラスとなりました。

杉本裕史／北栄町環境エネルギー課 課長（当時）



中国環境パートナーシップオフィス (EPOちゅうごく)

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階

TEL : 082-511-0720

FAX : 082-511-0723

Mail : info@epo-cg.jp

URL : <https://epo-cg.jp>



WEB Site



中国地方ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development

中国地方ESD活動支援センター

〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋町ビル5階

TEL : 082-555-2278

FAX : 082-511-0723

Mail : cgesdc@chugoku-esdcenter.jp

URL : <https://chugoku.esdcenter.jp>



WEB Site

EPOちゅうごく・中国地方ESDセンターは、環境省・文部科学省と
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターが協働で運営しています。

ACCSES

